

# 令和2年 第5回（6月）吉川市議会定例会

## 一般質問通告書

質 問 者			
通告第 1号	19番	中嶋 通治	
通告第 2号	4番	戸田 馨	
通告第 3号	10番	降旗 聡	
通告第 4号	16番	赤出川 義夫	
通告第 5号	15番	大泉 日出男	

質 問 者			
通告第 6号	13番	小野 潔	
通告第 7号	14番	五十嵐恵千子	
通告第 8号	11番	伊藤 正勝	
通告第 9号	6番	遠藤 義法	
通告第10号	12番	齋藤 詔治	

質 問 者			
通告第11号	1番	岩田 京子	
通告第12号	20番	松崎 誠	
通告第13号	17番	吉川 敏幸	
通告第14号	8番	雪田 きよみ	
通告第15号	7番	飯島 正義	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 19番 中嶋 通治	三輪野江地区の今後の在り方について。	<p>平成29年3月議会において代表者質問を行って以来の質問となりますが、その後の進捗状況についてしっかりとした答弁をお願いいたします。</p> <p>① スマートインターチェンジが本年4月より大型車の乗り入れが可能となった、今後フルインター化の話もあるが実現に向けて吉川市ではどのような取り組みをするのか、また近隣市との調整はどのようになっているのか、更に接続するアクセス道路等についても伺います。</p> <p>② 三輪野江地区の開発についても現在どの様になっているのか、具体的な取り組み、進捗状況を伺います。</p> <p>③ 農振地域の見直しは喫緊の課題であるがその後の進捗状況、また、地域住民との懇談状況などについて伺います。</p>	市長 担当部長
通告第2号 4番 戸田 馨	新型コロナウイルス感染症対策	<p>国交付金活用の今定例会予算を高く評価する。</p> <p>1 埼玉県との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県、また県管轄の保健所との情報共有・連携が必要と考える。現在課題をどのように捉え、今後どのように連携をしていくか、見解は。</li> </ul> <p>2 吉川市立小中学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休業中の動きとして、児童生徒、家庭と学校のコミュニケーションをより密に取る努力をすべきではなかったか。また、児童生徒に対し、学びの提供の機会を止めないよう教育行政としてリーダーシップを発揮する必要があったのではないか。見解は。</li> <li>・児童生徒、また教職員に感染者が出た場合、および感染が疑われる症状が一定数現れた場合のガイドラインは。</li> <li>・第2波、第3波への備えとして、また学校へ行くことが難しい児童生徒への対応にも活用が可能であるICT活用の推進を一層進める必要がある。備えとして、児童生徒、教職員ともに端末操作を学校現場で行えることが望ましいと考えるが、今定例会の予算付け以降の見通しは。</li> </ul>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第2号 4番 戸田 馨</p>	<p>(続) 新型コロナウイルス感染症対策</p>	<p>3 市民生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費活動の喚起と、感染拡大抑制のバランスをどのように考えるか。</li> <li>・市民生活に等しく影響がある水道代の減免もしくは支払い猶予の設定を求めるが、見解は。</li> </ul> <p>4 避難所について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大防止の観点から、避難所への避難のみが避難行動ではないこと、在宅避難や分散避難とそれに伴う自助の推進の必要性をより広く啓発する必要があると考えるが、見解は。</li> </ul>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第3号 10番 降旗 聡</p>	<p>災害発生時の避難所開設と安否確認システムの導入について</p>	<p>市民は、非常事態宣言が発出されたなか、各地で発生した地震により、緊急警報が鳴りだしたときに大きな不安を抱きました。</p> <p>また、これから梅雨入りを迎えます。大雨などによる風水害対策に備えるなかで、自助・共助・公助のあり方についても見直しが必要であると考えています。</p> <p>そこで、以下について市の見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染症対策を含めた避難所開設のマニュアルと、避難所増設の考えについて。</li> <li>2) 屋上駐車場を設置している市内事業者との災害協定締結の現状と今後の方向性について。</li> <li>3) 屋上駐車場での避難所開設が可能となった場合に、対象地域や対象者、車両の台数制限についての考えについて。</li> <li>4) 自助として、垂直避難、避難所への移動、親族・知人宅への避難などを把握することが可能となる「安否確認システム」(電話・メール・アプリ等での回答が可能)の導入について。</li> <li>5) 要支援者の救援(支援)体制の構築について。</li> </ol>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第4号 16番 赤出川義夫	公園の整備体制について	<p>GW期間中に沼辺公園の遊具で、児童が怪我をしたとの連絡をもらい、担当職員とともに現場に駆け付けました。幸い浅い傷で済みましたが、他にも何人かこれまでけがをした児童がいるとのこと。破損した遊具の応急処置をするにも道具が足りない状況でした。公園遊具の管理についてお伺いします</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、日常点検の頻度、遊具毎のチェックリストの有無。</li> <li>2、業者による定期点検の項目と点検頻度</li> <li>3、担当課としての修繕の有無。</li> <li>4、自治会への清掃委託状況</li> </ol>	市長 担当部長
	防災協定と業者育成について	<p>災害に備え、様々な業者間との災害時応援協定を結んでいます。市発注の公共工事などで市外業者の場合、災害時における応急対策活動の協力に関する協定を結んでいるか。公共工事等における発注価格での検討も大事だが、突発的な災害時すぐに駆けつけ復旧作業などに協力してくれるのは市内の業者です。経済活動をより円滑に行うためにも市内業者育成のため、発注を市内業者に優先していく考えはございますか。見解を伺いたい。</p>	市長 担当部長
	5市1町合併について	<p>平成13年度から調査開始の埼玉県東南部地域の5市1町の合併等検討会議として、平成23年3月に発足している埼玉県東南部都市連絡調整会議のその後の進捗と、市の意向を伺いたい。</p>	市長 担当部長
通告第5号 15番 大泉日出男	「こども110番の家」の更なる 拡充について	<p>コロナ感染症対策に伴い、新しい生活様式が随所で見直されつつある中で、様々な所で状況が変化をしております。働き方、学校では授業の在り方、家庭においては買い物方法の改善などがあげられます。特に小中学校では生活スタイルの変化からくるストレス、人間関係の希薄からくる心のケアも一層の心がけも急務かと思われまます。</p> <p>そんな中吉川団地内に新しいスーパーがオープンし、市民の方から防犯の部分で「こども110番の家」はどうなっているのか、安心安全の防犯に強いまちにとの声がありました。そこで</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①平成11年からの事業のようすが随時見直し等が図られているのか含め現状を教えてください。</li> <li>②団地内のスーパーや市内で新設されたドラッグストア等もあり変化がおきている。</li> </ol> <p>「子ども110番の家」定期的な見直しや拡充が必要と考えるが市の見解を伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第6号 13番 小野 潔</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>緊急事態宣言が5月25日解除されました。引き続きの感染症対策と経済活動の再開の中で新しい生活様式が求められております。当市におきましても、今日まで職員一丸となって対策、対応に全力で取り組んでいただいております。国におきましても、令和2年度予算、第一次補正予算、現在閣議決定され審議がされる第二次補正予算と様々な新型コロナ対策が行われております。そこで新型コロナウイルス感染症対策についてお伺いいたします。</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策で使える制度の利用状況は。 (雇用調整助成金・持続化交付金・住宅確保給付金・緊急小口資金・総合支援資金・セーフティーネット保証・各種税金や保険料の支払い猶予・水道料の支払い猶予等)</p> <p>②定額給付金に関する「急を要する申請」「オンライン申請」数とお問い合わせ数。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対策の中、市民から寄せられた相談状況は。 (DV相談・配偶者暴力相談・休業やハラスメント相談・悪質商法相談)</p> <p>④自粛解除に伴う各公共施設等の対策・環境整備についての考え方は。</p> <p>⑤感染者家族や外国人へのケアや対策についての考え方は。</p> <p>⑥GIGAスクール（児童生徒一人1台のタブレット確保）による今後のICT授業の推進は。</p> <p>⑦官・民におけるワーケーション・リモートワークの推進についての考え方は。</p> <p>⑧オンライン診療の現状と拡充、介護施設の於けるオンライン相談や面談の推進については。</p> <p>⑨自宅での医療・フレイル対策推進環境整備事業の拡充については。</p> <p>⑩公共施設に於ける安全・安心確保の為に体温検査やサーモグラフィーの設置については。</p> <p>⑪定額給付金の基準日は4月27日だが、28日から支給期間中に生まれた新生児も支給対象とするお考えは。</p> <p>⑫産業廃棄物・一般家庭ごみ収集事業者の現状と支援策については。</p> <p>⑬6月1日より分散登校から開始される小中学校の再開について、気象庁は先日「今年の夏は亜熱帯型の猛暑日の多い夏になる」と発表しました。小中学校の児童生徒を熱中症から守る為、また新型コロナから感染を防ぐ為にもフェースシールドの有効活用を考えます。</p> <p>5月27日に文部科学省総合教育政策局より「熱中症事故防止について」の通知がなされています。「飛沫を飛ばさないよう、児童生徒等及び教職員は基本的には常時マスクを着用することが望ましい。ただし気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第6号 13番 小野 潔</p>	<p>(続) 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>可能性が高いと判断した場合はマスクを外すよう対応下さい」としております。保護者の方からも「マスクは子どもが息苦しい」「熱中症にならないか心配」との声があります。そこで児童生徒の登校時や授業中においても、飛沫を飛ばさない、熱中症防止の為に、マスクを外す場合においてフェースシールドを活用してはと考えます。吉川市独自の「かわいらしい!」「かっこいい!」デザインのオリジナルフェースシールドを作成し、全校生徒に配布してはと考えますがいかがですか。</p> <p>また、オリジナルフェースシールドを市職員や医療機関、介護施設でも使用してはと考えます。更に一般市民へは安価にて販売するなどの方法を用いて広く使用していただき、「コロナに負けず夏を乗り越えよう!」「新しい生活様式はフェースシールド!」などキャッチを決めて、シティプロモーションの一環としても活用しては考えますがいかがですか。</p> <p>⑭世界保健機関 (WHO) は、新型コロナウイルス対策の影響により、世界で子どもへの通常ワクチン接種が停滞している事を取り上げ「命への大きな脅威となる」と危機感を示しています。</p> <p>国内では、乳児の予防接種を開始する生後2か月になっても接種を控えている保護者が出ているとの報道がありました。母体から受け継いだ抗体が少なくなる時期から計画的に予防接種を受ける事が極めて重要と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国は「予防接種は不要不急ではない」と呼びかけていますが、当市の接種の様子についてお伺いします。</li> <li>・新型コロナウイルスに感染しないよう、また、安心して予防接種を受けていただくよう、各医療機関や保健センターではどのような対応が取られたのか、今後も安心して予防接種が受けられる体制・環境等についてどのようにお考えかお伺いします。</li> </ul>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第7号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>マイナンバーカードの交付率アップを</p>	<p>マイナンバー制度は、共通の社会基盤として番号を活用することにより、社会保障・税・災害対策の分野に限定され、社会保障と税制度の効率性・透明性を高め、国民の利便性をあげる事を目的として2016年1月から運用が開始されています。</p> <p>本人確認のための身分証明書として利用できるほか、自治体サービス、e-Tax等の電子証明書を利用した電子申請、また、2017年から運用開始となったマイナポータルは、今やスマートフォンでも読み取りが可能となり、今回の特別定額給付金のオンライン申請では、全国的にはトラブルもあったようですが、市民からは、自分でできた感激やお喜びの声を</p>	<p>市長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第7号 14番 五十嵐恵千子	(続) マイナンバーカードの交付率 アップを	いただいています。 ①2018年6月議会にて、市民のさらなる暮らし応援をと題して、マイナンバーカードの交付数についてお伺いしたところ、2018年5月現在で、7,151枚とのことでした。直近の年代別交付枚数と交付率をお伺いします。 ② 今後もさらに交付を促進すべきと考えますが、現在、マイナンバーカードを取得することでどのような利便性があるのか、今後はどのような事が可能となって行くとお考えか、お伺いします。また、交付率を上げるためには、先ず、市民が正しくマイナンバーカードを理解することが重要であり、定期的に周知を図るべきと考えますがご見解をお聞かせください。	市長
通告第8号 11番 伊藤 正勝	住民への情報提供のあり方 吉川市の広報戦略について  「広報よしかわ」について  「ホームページ」について  プレスリリースについて  FMこしがやの活用	大都市圏は放送・電波が広域でローカルの情報は拡散の傾向。経済圏。生活、通勤圏も広く、マスコミは全国紙主体で地方紙の存在感は薄い。それだけに小規模自治体にとっては、広報や情報発信内容のウエイトが一段と重くなっています。吉川市の情報提供の実状と基本的な考えを伺います。  質問1. 「広報よしかわ」について。見やすく必要な情報が提供されるようになってきました。▽「広報よしかわ」編集の基本方針と配布の実状。内外の作業の手順や期間。その費用。▽日々変化し、迅速な提供が必要な情報への対応は。号外の発行等はムリですか。今後の拡充方針について伺います。  2. オンラインの「ホームページ」について。▽「ホームページ」の掲載基準とこの一年の発信と受信の実状。市民の反応や声はいかがですか。作業の手順や費用も含めご説明ください。▽「デジタル格差」の解消についてもご見解をお願いします。▽「市長の部屋」と市長個人のSNSブログとの仕分けはどう考えていますか。公と私。信頼を損ねないように。市長さんをお願い。わかるようにご説明ください。  3. プレスリリースについて。マスコミへの記事提供。大幅に増加していると思います。実状と提供への基準。掲載件数。ホームページとの連動についても伺います。  4. FMこしがやの活用の実状。基本的な考え。放送内容。費用や市民反応。今後の取組みにもふれご紹介ください。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	回覧板での周知について	5. ▽各自治会の協力で多くの情報やお知らせが回覧されています。定期回覧の主な内容。年間の回覧件数。その基準についても伺います。 ▽自治会の加入者が減少傾向にあります。未加入者への回覧の扱いはどうなっていますか。「広報よしかわ」の配布と回覧板の扱いは同じですか。今後の取組みも。▽回覧の件数が多いのではとの声もあります。厳選するなど変更について検討の余地はありませんか。	市長 教育長 担当部長
	市政関係の広報資料等について	6. 吉川市は施政・施策に関して多くのパンフレットを発行しています。近年種類も部数も増えています。▽この4年間で発行されたパンフレットの種類、発行総部数。費用総額は。不明であればこの1年間の主な発行物と概略の件数、費用について。▽吉川独自のパンフレットについて、主な刊行物や基本的な考えもご紹介ください。	
	市の広報戦略の考えを	7. 吉川市の情報提供と広報戦略について 総括的に伺います。	
(続) 通告第8号 11番 伊藤 正勝	行政のデジタル化推進。 学校のICT教育について	「新しい生活様式」。行政も企業も学校もICT化。オンライン化、デジタル化へ。大きなうねりになりそうです。 質問1. ▽テレワーク、ペーパーレス。マイナンバーカード活用等吉川市のデジタル化について。基本的考えや方向。スケジュールを伺います。▽行政の職員とともに市民への啓発や理解も必要だと思います。生涯学習や商工業者等への研修、講座の展開など広範な取組みについての考えはありますか。 2. 学校のICT教育について。▽環境整備と指導体制についてどう進めますか。取り組みと課題についても。▽ひとり一台の実現の見通し、時期。児童生徒の持ち帰り等一定の利用基準も必要だと思います。現時点での考えや課題についても伺っておきます。	市長 教育長 担当部長
	東埼玉資源環境組合の 第2最終処分場について	環境省の方針転換で第2最終処分場は2年間に渡り休止しています。この施設は吉川美南高校の裏手に立地、4万7千㎡の広大な用地です。この問題を組合議会で先に取り上げ、休止の理由や、今後の扱いについて質問しました。6月組合議会でも継続して取り上げます。 質問1. ▽この第2処分場について吉川市の受け止め方、認識とともに今後の取組みの方向を伺います。▽吉川市と組合、地元との3者の協定書の有効期限等、主な内容もご教示ください。 2. 第1最終処分場は埋め戻されて、現在美南公園の一角として利用されています。▽この第1処分場跡地の面積と現況の確認。▽公園用地としての利用に至るその経過と協議の内容。▽所有権や費用負担についても伺います。	市長 担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第8号 11番 伊藤 正勝	きよみ野の「橋のある公園」 腐食の橋の放置問題	市庁舎に近いきよみ野1丁目の「橋のある公園」。橋げたが腐食して危険です。ご近所の方から公園担当者とは何度も話し合いましたが進展がありません。「何とかしてください」と写真を添えての陳情がありました。▽現状をどう認識し対応しているか。▽住民との話し合いの時期や内容。▽速やかな対応が必要です。今後の取り組みを伺います。	市長 担当部長
通告第9号 6番 遠藤 義法	1. 「誰ひとり取り残さない」 市の役割と取り組みは	<p>「誰ひとり取り残さない」の理念を掲げ、SDGsの取り組みが全世界で進んでいます。市も「よしかわ行財政改革推進プラン」にも位置付けており、今後の対応等具体的に伺います。</p> <p>①行財政改革推進プランの持続可能性視点では、「従来の行政資源を期待した取り組みは持続性がありません。持続可能性を確認する視点としてSDGsにおける視点が有効」と規定しています。地方自治法の観点からみて持続性がなく、何を確認してどのように変える必要があるのか、その認識と考え方、方向性を示していただきたい。</p> <p>②アウトソーシングの推進としての効果をあげており、経費の削減と行政サービスの向上が図られ、市職員の企画立案業務などに注力ができるかとあります。行政サービスは自治体本来の目的であり、市の役割です。民間のノウハウ、専門性を取りあげていますが、市民ニーズを一番把握しているのは市であり、各課の横の連携・強化（業務横断的）等創意と工夫で事業をすすめることが可能です。専門性は、市の組織のあり方と専門職員の採用・育成が大事であり、すすめてこなかった市の怠慢、すり替えに見えますが考えはいかがでしょうか。人事異動期間が2～3年についても再考する必要があると考えます。</p> <p>③市民税等の歳入は、今回の新型コロナウイルス感染症対策での自粛等が大きく影響し、営業や給料などから見て減収になるのではと懸念しています。今後の財源確保等見通しはどのように考えていますか。住民要望に沿った事業の拡充は必要であります。使用料・手数料をはじめとする受益者負担の適正化による住民負担を強いることはあってはなりません。国庫補助金・地方交付税の確保、住民合意による地方債の活用も視野に入れた財源確保策を講じるべきであり、今後の対応等考えを伺います。</p> <p>④「誰ひとり取り残さない」との理念から、さまざまな市の事業にこの視点が求められています。災害時の弱者対策、交通弱者対策、生活困窮者対策、子育て支援などの考えと対応は。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第9号 6番 遠藤 義法	(続) 1. 「誰ひとり取り残さない」 市の役割と取り組みは	⑤ふるさと納税を活用した「子ども食堂」支援と地域の飲食店を巻き込んだ茨城・境町の「街ごと子ども食堂」が話題を呼んでいます。ふるさと納税制度の見直し、地域の飲食店の協力を得るなどをして取り入れてはいかがでしょうか。	市長 教育長 担当部長
	2. ICTを活用した教育の効果と懸念は	児童生徒1人1台のタブレットPC教育について、メリット、デメリットが様々あげられています。授業が分かりやすいなどメリットがある反面、自ら考える力が弱くなるのではないかなどデメリットも懸念されています。 市は、これらメリット、デメリットについてどのように認識していますか。教職員の育成も大事であり、何よりも児童生徒の健やかな育成に支障が出ない教材として活用することが求められていると考えます。今後の活用と対応について伺います。 環境整備には財源が必要です。今後の経費の算出、その根拠、国からの補助金などの見直し等はどのように把握していますか、項目・学校別にお聞きします。	教育長 担当部長
通告第10号 12番 齋藤 詔治	1. 新型コロナウイルス感染症による経済不況を考慮し、吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業の事業手法とまちづくりコンセプトを再検討すべきでは。	吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業の産業ゾーンの全体処分計画(全体の区画割・価格)が不明瞭な状況の中、産業ゾーンの一部が安価に売却され、また商業ゾーンへの企業誘致をしている中、新型コロナウイルス感染症が発生し、国による緊急事態宣言が発令され、これまでに経験のない経済不況になると言われています。5月25日の宣言解除に併せて、政府による日本経済支援策が進められていますが、この区画整理事業も現在の事業計画で推進出来るのでしょうか。状況を考慮し、全ての事業手法とまちづくりコンセプトを再検討すべきと思慮しますが。	市長 担当部長
	2. 吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業の進捗状況は。	平成29年6月に事業認可され、今日までの事業の進捗は計画通りか。 ・仮換地指定の指定状況。 ・仮換地指定に関する意義の申し立て状況。 ・今日までの工事契約と竣工状況。 ・産業ゾーンの現状の契約状況および今後の保留地処分計画。 ・商業ゾーンにおける進出企業の誘致の現状。	市長 担当部長
	3. 吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業の実施において、多くの問題がある中、この度の裁判(碎石除去)は本当に必要なのか。	裁判(碎石除去)の訴えは、市長より提案され、補正予算として裁判費用550万円が4月の臨時議会で可決されました。 ・現在の裁判状況についての説明。 ・この度の裁判等をせず、現状での地権者並びに関係者と事業推進へ向けて、話し合いと丁寧な説明で理解を得ることが、本当の解決と考えますが。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第11号 1番 岩田 京子	新型コロナ対策について 1) 新型インフルエンザ等 対策本部の機能について	コロナ対策については当対策本部の決定において事業を進めていくものと認識しているが、 ①対策本部の構成、及び、そこでの検討事項は。 ②対策本部が把握せずに発表に至っているものも伺えます。対策本部の役割について、今一度確認したい。 ③国の緊急事態宣言が解除されても、新型コロナの感染リスクがなくなるわけではない。当対策本部の今後の運営は。 ④どのような状況になったら解散するのか。	市長 教育長 担当部長
	2) 情報の発信と周知について	HPとプレス発表が中心だったが、防災無線や掲示板・回覧板・広報車等の活用は考えられないのか。ネットを利用しない市民への周知方法をどう考えているか。6月広報の一覧のようなものを回覧などできなかったのか。	
	3) 感染予防の具体的対策	非常事態宣言解除後の感染リスク低減や、拡大防止の具体的対策。学校・学童保育・保育所・公民館・おあしす・学校体育施設・野外施設など。	
	4) イベントについて	① この間中止・休止したイベントの数、内容、及び予算上想定される減額金額。 ② 2波、3波と感染がおこった場合のイベントに関する考え方は。イベント実施についての考え方・ガイドラインは。	
	5) 図書館について	在宅時間が伸びて、読書の時間が増えた方も多いと思う。今、図書館の存在意義を高める絶好の機会である。閲覧室についての工夫。オンラインでの貸し出しや読書会などがこれから一層期待されると考えるが、今後の運営は。	
	6) 授業再開に当たり学校の 対策について	①吉川市の夏休みは他自治体に比べて長い。学習の遅れをどのように取り戻すのか。冬休みについては、授業数の削減について各教科ごとに、ご説明ください。 ②「新しい生活様式」でもリスクの高い科目とされる調理実習や合唱、また水泳など実施するのか。 ③喘息などの持病で学校登校に慎重な家庭もあると思う。欠席扱いも可能とされているが、市の対応は。また、その場合の学習支援の方法などは。 ④「コロナ災害」被災者でもある子供たちの心のケアが必要だと思うが、ストレス解消策・相談室の拡充等、検討しているか。 ⑤フッ素洗口を、密集・飛沫感染の懸念から中止にしている学校もあるが、吉川市の対応は。	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 6) 授業再開に当たり学校の対策について	⑥小中学校で無添加石けんを推奨しているところですが、今後の方向性は変わらないか。 (抗菌石けんの抗菌作用が発揮されるまでに9時間かかるという韓国の研究結果も出ていて、通常の石けんで充分であること。また、石けんのアルカリ性が、エンベロープを溶かすので、固形石けん上でウイルスが不活性化されるので、石けんを共有することで感染源にはならないという見解が出ています。) ⑦緊急事態宣言下、教育委員会の役割、協議内容、臨時の対応の有無をお聞かせください。	
	7) 医療体制について	① PCR検査実施までの医師会との折衝経過を伺います。 ② 市民の一番の安心は検査体制・医療体制の充実と考えるが、抗体検査・発熱外来の導入、及び、PCR検査の拡充は。現在、場所を非公開にしているが、一般の方々への拡充の検討は。	
(続)	8) 資源・ごみの状況について	コロナ自粛により、家の片付けやテイクアウト利用が増える中、ごみ事情の変化がある と考えるが、この間の資源・ごみ量の変化。また環境センター、東埼玉資源環境組合第1 工場、資源回収先などの状況についてお聞かせください。	
通告第11号 1番 岩田 京子	9) 特別定額給付金	① オンライン申請・早期申請・一般申請の申請・給付状況。 ② 22日からの早期給付の申請の導入や、一般の申請書の送付が早まったが、事務的作業 の進捗状況や職員配置の工夫は。おあしす等管理委託先への協力依頼は不可能だったの か。 ③ 給付の手続きの優先順位。 ④ 給付の完了見込み。 ⑤ 課題は。	市長 教育長 担当部長
	10) 産業振興	①第2次補正予算とも関連、市内の事業所、特に飲食店、花屋、クリーニング店等々、ダ メージの大きい事業所に対する支援策は。 ②人手不足に見舞われている事業所・農業法人等について雇用の実状、経営への影響の把 握は。市として支援策の検討はしているか。	
	11) 補正予算編成と財源 の活用	① 国・県の臨時交付金(補助金)について、有効に活用するために当事者や現場の声をど う集約するのか。誰がどのような場で決定するのか。 ② 吉川市独自の財源による施策の考えは。その場合の財源調達方法は。(財調・寄付・ク ラウドファンディングなどの想定は) ③ 今年度の事業の見直し・力の入れどころについての考えを伺う。	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 1番 岩田 京子	(続) 11) 補正予算編成と財源の活用	④ 市として今後どのような対策に力を入れていくお考えか。今までできてこなかった対策(発熱外来、外国人・学生に対する支援など)についてはどのように進めていく予定か。	
	2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明について	3月議会で検討するとのご答弁をいただきましたが、この間さらに約20自治体が宣言をし、5月27日現在、表明自治体が93自治体(18都道府県、42市、1特別区、24町、8村)となりました。吉川市においてはエネルギービジョンの策定に入っていますし、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム1号会員にも名を連ねています。ぜひ、埼玉県で秩父市に続いて2番目の表明都市になって、温暖化対策でも牽引してもらいたいところですが、ご検討結果をお聞かせください。	市長 教育長 担当部長
通告第12号 20番 松崎 誠	地域のまちづくりについて	1. 市街化調整区域の人口減少について 旭地区・三輪野江地区において今後人口減少が進み、教育委員会の試算では東中学校の生徒数(現433人)が令和13年には134人、そして旭小では108人、三輪野江小では134人との報告をいただいています。市街化調整区域では基本的に開発が厳しく規制されている地域であり、この開発規制が地域の人口減少、既存集落の形成、地域コミュニティの存続に大きな影響を与えています。そこでお伺いします。 市街化調整地域における既存集落の土地利用の規制緩和を図るべきと考えますが、いかがでしょうか。 2. 生活道路の舗装整備予算編成について 市街化調整区域の生活道路については、多くの皆さんから舗装整備の要望が寄せられています。しかし現状はその要望に応えられていないのが現状であります。舗装整備予算はどのように編成されているのですか。 3. 河川防災ステーション整備について 当市に整備される河川防災ステーションは、平常時においては公園・広場として活用し、市民の健康増進の場として考えられます。また、道の駅や物産館等を併設し、地域の魅力を観光客に発信する施設として活用できるものであります。平常時における利活用について、地域の皆さんとの意見交換会を早期に開催してはいかがでしょうか。	担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第13号 17番 吉川 敏幸</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>(1) 様々な支援策の情報・サービス提供体制について  ① 新型コロナウイルス感染症に対しては多くの支援策が実施されている。しかし、市民一人一人がその情報すべてを把握することは非常に困難と思われる。そこで、新型コロナウイルス感染症に対する国・県・市の支援策一覧表の作成と配布について市の考えを伺う。  ② 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象事業として、各種相談・申請支援窓口開設事業が含まれているが、持続化給付金、休業補償など様々な支援策についてスムーズな申請が行えるように市役所1階のコミュニティルームにワンストップの総合窓口を設置しては如何か。市の見解を伺う。</p> <p>(2) 地域経済下支え、市民生活支援対策について  ① 新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民生活支援策として、水道料金の4ヶ月分の基本料金を全額免除しては如何か。市の見解を伺う。  ② 特別定額給付金の基準日である4月27日以降から緊急事態宣言解除までの期間中に生まれた新生児も対象に1人10万円の給付金を支給する「市特別出産給付金」のような施策の実施について、市の考えを伺う。  ③ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による売上高等への影響について市内事業者にアンケート調査を実施されておりますけれども、回答の結果について伺う。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与する製品を開発・製造した市内製造業者に対して支援する施策を講じては如何か。市の見解を伺う。</p> <p>(3) コロナ禍での災害避難所の運営について  ① 複合災害に備えて、市ホームページに新型コロナウイルス感染症への対応についてアップされておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が完全に終息してない中、避難所が過密状態になることを防ぐため、予め可能な限り多くの避難所の開設計画を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。  ② 避難所での新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、ゾーン、人の動線、トイレ等を一般の避難者と感染の疑いがある避難者とに分ける必要があると思うが、区分けの方法や基準、また、自治会とどう連携をしていくのか、市の考えを伺う。  ③ 今年度、旭小学校において減災プロジェクトを開催する予定と聞いているが、このような複合災害を踏まえた上で事前に地元自治会と協議し、HUG(避難所運営ゲーム)を行っては如何か。市の見解を伺う。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第13号 17番 吉川 敏幸	2. 吉川運動公園内（調節池）の利便性改善について	(1) トイレの設置について ① 3月議会において、河川管理者である埼玉県からの許可が必要であり、イベントなどの一時的な利用を除いてトイレの設置は難しいと答弁をいただいたが、千葉県松戸市では、市民の健康増進や地域活性化の観点から実施すべき事業であるという共通認識の基、法的・技術的課題を何度も討議し水洗トイレを設置した事例がある。排泄は尊厳の問題とも言われる。再度、市の見解を伺う。	市長 担当部長
	3. 三輪野江地区のまちづくりの方向性について	(1) 三輪野江地区 120ha のうち、農地保全エリアについて ① 現在の第五次総合振興計画に無い三輪野江地区の「農地保全エリア」、「農業拠点検討エリア」、「将来開発エリア」の区分け。三輪野江地区懇談会等において地域住民との意見交換を行ってきたと思うが、地権者のうち意思表示をしている賛成・反対の詳細を伺う。 ② 農業振興地域として指定された場合、後継者問題や生業としての農業で生活できるか等、様々な課題がある。農業振興地域整備計画において、水質等環境も含め農業生産基盤の整備開発計画、農業近代化施設の整備計画、担い手育成施設の整備計画、安定的な就業促進計画等、市の考えを伺う。	市長 担当部長
	4. 将来都市構想図・土地利用構想図について	(1) 三輪野江地区スマート IC 周辺について ① 当地区には、高速道路、スマート IC のフル化、都市軸道路、バイパス道路等、将来の交通の要衝となりうる重要な要素が備わっております。将来を見据えた計画がなければ、渋滞が発生し、地域住民に迷惑が及ぶことにもなりかねない。スムーズな高速道路の乗り降りについて、近隣の三郷市との調整や計画について伺う。 (2) 須賀・榎戸地区のインターチェンジ構想について ① 将来都市構想図の須賀・榎戸地区には外環道と接続する東埼玉道路が計画されており、その中に越谷総合公園川藤線インターチェンジ(仮称)の計画がなされている。この地域の将来的な構想を伺う。	市長 担当部長
	5. 地域経済活性化について	(1) インターチェンジ周辺の開発について ① 先の質問にあるように、吉川市には2つのインターチェンジが出来る可能性がある。地域経済活性化として、将来的にインランドデポの誘致を考えてはどうか。インランドデポとは、内陸地における保税蔵置場を核とした輸出入取扱拠点のことであり、雇用の拡大、企業の誘致、コンテナラウンドユース等により輸送コストの削減、CO2 排出量の削減等が挙げられる。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第14号 8番 雪田きよみ	1. 第二波・第三波に備え、PCR検査センターの更なる充実を	<p>新型コロナウイルスの感染が広がる中で、多くの方が大きな不安に駆られました。発熱患者や新規患者の受診を断る医療機関も多数あり、「発熱しても受診すられない」ことへの不安。PCR検査体制の整備が遅れ、必要な人が検査も受けられないことへの不安。陽性と判定されても入院先が確保できないことへの不安。自宅待機中に急変して、誰にも看取られずに死んでしまうのではないかと不安などが大きかったように感じています。</p> <p>そのような中で吉川松伏医師会のご尽力の元、5月22日からPCR検査センターが設置されたことを嬉しく思っています。</p> <p>① センターの稼働状況を教えてください。</p> <p>② 高齢世帯など車のないご家庭の方々から、万が一発熱などの症状があった時、センターまでの足をどのように確保したら良いのか、タクシーに乗せてもらえるのかとの不安の声が寄せられています。</p> <p>対策が必要と考えます。どのようにお考えでしょうか。</p> <p>③ 第二波・第三波の襲来を多くの専門家が予測しています。現在は週2回1時間程度、1日10件までの検査が可能とされています。今後検査が必要な人が増えた折には、センターのオープン時間や可能検査件数などは柔軟に対応していただけるのでしょうか。</p> <p>④ 発熱の原因はコロナウイルス感染とは限りません。発熱した市民が断られることなく医療を受けることができ、疾病に応じた治療につなげることができ、医療従事者の感染を予防するためにも検査センターへの発熱外来の併設が重要と考えます。どのようにお考えでしょうか。</p> <p>⑤ センターの場所については非公表と伺っています。公表するべきと考えますが、市の見解を教えてください。</p> <p>⑥ 共産党議員団は4月6日提出の要望書で、「発熱者専用臨時受診センター」の設置を要望しました。市では4月20日に近隣市とのPCR検査センター情報交換会、22日には吉川松伏医師会との設置検討会を行っています。が、設置までには1カ月を要しました。なぜこんなにも時間がかかったのでしょうか。設置までの経過を、場所や費用などの検討も含め詳しく教えてください。</p>	市長 担当部長
	2. 子どもたちの「楽しみな活動」を大切に、「人格形成」を重視した教育活動を	<p>全国学力テストが中止になったにも関わらず、県教育委員会が毎年春に実施している県学力・学習状況調査が、今年も多く自治体の小中学校で実施されることが明らかになりました。参加するか否かは、各自治体の判断とされています。新型コロナウイルスの問題</p>	市長 教育長 担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第14号 8番 雪田きよみ	(続) 2. 子どもたちの「楽しいな活動」を大切に、「人格形成」を重視した教育活動を	で長期間休校になった影響で授業時間が不足する中で実施することに、疑問の声も多く寄せられています。越谷市や八潮市は不参加の方向で、八潮市教育委員会の担当者は「調査も大切だが、まずは休校となった4～5月分の指導をしっかりとするなど、授業時間を確保するため」と説明したことが5月30日付東京新聞で報道されています。 ① 吉川市はこの調査に参加する計画でしょうか。 ② いつ、どのような会議で、どのような検討を経て決定したのかを教えてください。 ③ 硬筆展審査会、市内音楽会、発明創意くふう展、市内陸上大会、英語弁論大会、部活の大会、運動会、遠足、修学旅行などの学校行事についての、今年度の方針と検討の経過を教えてください。 ④ 文科省の学校再開ガイドラインでは、2か月間の休校にも関わらず、今年度の学習について「できる限り遅れを生じることがないように」求めています。教育基本法に定める教育の目的「人格の形成」が蔑ろにされてしまう可能性を危惧しています。今年度、どのように「人格の形成」を重視した教育活動を行っていくのか、考えをお聞かせください。	市長 教育長 担当部長
	3. 演劇プロジェクト、今年度も実施するのでしょうか	5月号の広報では、第4回演劇プロジェクトオーディションの募集と同時に、今年度の講演会の詳細が発表されました。緊急事態が解除されたとはいえ、感染症の問題が収束したとは言い難い状況の中、先行きの見通しが立たず多くの団体が今年度の様々な企画を断念しています。特に公演日程としている12月には、新たな感染の波の到来を予想する専門家も多くいます。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活が困窮する市民・事業主が多くいる中で、演劇に多額の税金をつぎ込むことに違和感があるとの声が多く市の市民から寄せられています。 ① 広報5月号が編集された時点では、緊急事態宣言発令などのこの間の展開は予測できなかったものと思われます。現時点で、今年度の演劇プロジェクトについてどのように考えているのか、検討の経過も含め教えてください。 ② 演劇には人を励ます側面があるとは思っています。しかしながら、感染予防に向けて三密を避ける、飛沫を飛ばさないための工夫、ソーシャルディスタンスなどが強く求められる中で、演劇の練習が本当にできるのかどうか疑問です。見解をお聞かせください。 ③ プロジェクトをスタートさせた後に、公演できない事態に陥った場合、多額の税金が水泡に帰すのではないかと懸念します。考えをお聞かせください。 多くの市民から寄せられる「違和感がある」との声を、どのように受けとめますか。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	1. 買物弱者への積極的な支援を	<p>買物が困難な住民が増えていよいよ深刻です。三輪野江地区の住民の皆さんから、「小さなお店がつぶれてしまい、何とかしてほしい」との声が上がっています。市は買物弱者対策をより早く進めるべきと考えます。</p> <p>経済産業省は、買物弱者支援対策について「買物弱者応援マニュアル」を公開し、民間事業者、地方自治体、および住民が相互連携できるよう普及啓発も取り組んでいます。応援方法はいくつか提示していますが「事業者、行政、住民が協力し合うことが重要である」としています。</p> <p>昨年6月議会では高齢者対策として、「今後8月からフォーラムを開きその後、勉強会ということで、住民の方々の協力を得た上で、第二協議体を早期につくっていききたい」との回答でした。経産省のマニュアルに従い、すみやかに協議体を作るべきだと考えます。協議体ができているならばその進捗状況を、できていないとしたらいつまでに作るのか、また、国の財政支援を活用した事業としての検討もしたのか。市の考えを伺います。</p>	市長 担当部長
<p>通告第15号 7番 飯島 正義</p>	2. 公共交通システムの確立を	<p>公共交通システムの問題については何度も議会で取り上げられております。「停留所まで遠くで歩くのが大変だ」、「高齢になり車の免許を返納し運転が出来ない」という声が寄せられております。「とにかく早く実施してほしい」、と要求は切実です。スピード感を持って対応すべきです。</p> <p>私は、交通手段としてコミュニティーバス、デマンドバス・デマンドタクシー運行で、気軽に外出できる環境を整えるべきだと考えます。市は、現在実施中の「タクシーチケットの検証」と言いますが、遅すぎます。国は、公共交通の確保・維持・改善に関して、特別交付税及び地域公共交通地方公共交通確保維持改善事業補助金を支出し、その制度を保障しています。早期に住民代表を入れた協議体を作成すべきです。「チケット検証」ならその場でもできます。</p> <p>① 国の特別交付税、補助金等を考慮した検討を行ったのか ② 早期に住民代表を入れた協議体をつくる考えはないのか</p> <p>市の考えを伺います。</p>	市長 担当部長
	3. 住宅改修補助事業の柔軟な体制づくりを	<p>住宅改修補助事業が新年度から450万円に増額が実現しました。店舗への拡大については、住宅改修補助事業ではなく、経営改善の融資の利用を案内しており、その場合利子の半分を市で助成する制度もあるため、店舗環境の改善に活用していただきたいとの回答でした。</p> <p>高崎市では商店版リニューアル助成制度というものを2013年度から始めています。費用の半分が助成されます。</p> <p>近隣の越谷市では、越谷市住宅・店舗改修促進補助金制度があり住宅と店舗が補助対象になっています。吉川市でも住宅改修補助事業の枠を広げて、商店などへも活性化支援策として取り組むべきです。市の考えについて伺います。</p>	市長 担当部長

